

トイレ修理で高額請求！

No. 202

日々の生活の中で、トイレや鍵の修理等、急を要するトラブルに直面した時、ネット等で「修理〇〇円」とある業者に連絡していませんか？実際に来訪すると思ってもよらない高額料金を請求されることがあります。

◎消費生活センターより

・あまりに高額な金額を言われたら一旦作業を中止してもらいましょう。そこまでの支払いを求められても納得してからと伝え、その場での支払いは慎重にしましょう。

【事例】

賃貸アパートのトイレが詰まり、ネットで見つけた「水回り修理5000円」とあった業者に電話をした。料金の確認をしたが、「見てみないと分からない」と言われ、とりあえず来訪してもらった。作業の流れを説明され、初めに薬剤を入れたが解消せず、段階を追って手動ポンプ・高圧洗浄機の使用となると、10万円位かかると言われた。賃貸なら後で管理会社に言えば支払ってもらえるかもしれないとも言われ、支払ってし

- ・最初に見積りだけをお願いし、来訪時に契約してしまった場合や、事例のように初めに書かれていた料金と実際の請求額が大きく異なる場合など、料金を支払い済でもクーリング・オフができることもあります。
- ・業者選びは重要です。緊急時のために日頃から建てた住宅メーカーや施工業者の

情報を集めておきましょう。

- ・アパート等、賃貸住宅にお住まいであれば、まずは貸主や管理会社に相談しましょう。賃貸契約に『住まいのトラブル対応』のプランがあることもあります。

- ・備えあれば憂いなし。トイレの詰まりの応急処置として、ラバーカップの準備があると、それを使って詰まりが解消することもあります。その後落ち着いて業者に修理を頼むようにしましょう。また、災害対策にもなるので「簡易トイレ」の準備も有効です。



問合せ

消費生活センター（2階）

☎(20)11101 FAX(20)1600

文芸コーナー

お芋

秋葉 智恵子

子供の頃寒い時
庭でわらを燃やし
みんなで笑いこけながら
火とたわむれた
叱る人もいなかった
楽しく大らかな日々であった
炎がおさまると
自分達の好きな
さつまいもを
投げ入れた
学校から帰ってくると
重箱に焼き芋が
沢山並んでいた
ほおばりながら
ふざけながら
楽しく楽しく
過ごした日々
電化製品のいま
夢の様な時代である

◎選評 斎藤正敏

子供の頃、庭でたわむれた懐かしい光景です。素朴で大らかな日々。すべてが便利になった今、楽しく楽しく過ごした幼い経験は貴重な財産です。

- 偶数月は「俳句・短歌・川柳」を、奇数月は「詩」を掲載しています。
- 投稿は楷書をお願いします。作品・氏名にふりがなをふってください。
- ※詩の原稿送付先（直接選者）へ 〒297-0032 茂原市東茂原7-55 斎藤正敏宛。
詩は随時募集しており、どなたでも応募可能です。たくさんのご応募お待ちしております。
「広報もばらの詩」と朱書きしてください。原稿は30行以内をお願いします。